



## 宇宙探検すばる望遠鏡

海部宣男 監修 林 左絵子 文

新日本出版 174 頁 定価 1,500 円+税

読み物  
お薦め度  
☆☆☆☆☆

この本の大きな特徴は、すばる望遠鏡で得られた鮮明な画像のカラー写真が巻頭 16 ページにもわたって掲載されていることだと思います。私が天文の世界に興味をもったのも、中学生の頃に見た銀河の美しい写真がきっかけでした。日本の誇るすばる望遠鏡ですがその存在を知る人は少ししかいません。私が「すばる望遠鏡に観測に行く」と言ったとき、存在を知っていたのは身の回りでほんの少数でした。これらの美しいカラー写真を見れば、存在を全く知らなかった方でもすばる望遠鏡の驚異的な解像力を実感し、すばる望遠鏡に興味をもたれることと思います。

第 1 章では、これらの写真から得られたすばる望遠鏡の最新の成果を、対話形式でわかりやすく説明しています。特に、身近なものを例にとって説明しているので、天文すなわち難しい、わからないと考えていた人も、身近でよく目にしているような現象と置き換えて想像することができ、宇宙の現象を身近に感じることができると思います。

第 2 章では、著者たちが『少年少女新聞』に執筆したすばる望遠鏡建設過程のレポートがドキュメンタリー形式でまとめられています。すばる望遠鏡の建設に携わった多くの方々の努力とそのプロ意識が非常によく伝わってきます。すばる望遠

鏡の自動研磨装置のイラストなどもとてもわかりやすく、8 m 望遠鏡を作ることがいかにたいへんなことなのかがよく伝わってきます。コラムでは、ハワイ島は火山なのに望遠鏡を設置しても大丈夫なのか、といった素朴な疑問にも詳しく解説があり、嬉しく思いました。

巻頭の写真には天文特有の単位が英語で表示してありますが、自分が中学生だった頃はこれらの単位がどのようなものなのかおそらくわからなかったと思います。また、巻末には用語についての説明がありますが、小学生を対象とするならばもう少し多くの用語の説明がないと理解ができない箇所もあるように思います。この部分にも、ほかで示されているようなわかりやすいたとえやイラストなどがあるとより幅広い年齢層の読者にもより読みやすくなると思います。

天文学に全く興味のなかった方にも、まずはこの本を手にとってすばるの美しい写真に触れて欲しいと思います。最近の天文学者の研究生活や、ハワイでの生活の様子なども描かれており、将来天文学を学んでみようと思っている小中学生や、初めてすばる望遠鏡にいかれる一般の方にもお勧めの本です。

高橋真理（東北大学天文学専攻）